

MS373-52005 GR ディスチャージテープ

取付・取扱要領書

この度は GR ディスチャージテープをお買い上げいただきありがとうございます。
本書には上記商品の取付け、取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。

★本製品は未登録車への取付けは出来ません。取付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	車種	グレード	年式	備考
MS373-52005	GR ヤリス	全車	'24.4～	

■ 構成部品

	部品名	数量	備考
①	GR ディスチャージテープ (サイズ<小> : W約50×H約25mm)	4	補給品番 : MS373-00004 (数量 : 1)

■ 構成部品図

①



■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

スケール、ウエス、脱脂剤等、マスキングテープ、スキージー（ナイロン系の布を巻き付けて使用する）、
ドライヤー（20℃以下の場合）

■ 目次

1. 品番・適合車種、構成部品、構成部品図、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、目次…………… 1
2. 取付け・取扱い上のご注意、安全にお使い頂くために…………… 2
3. 取付構成図…………… 3
4. 取付要領…………… 4
5. 取付完了後の注意事項…………… 6

■ 取付け・取扱い上のご注意 作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。



警告

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行っていただくこと



- ⊘ 本製品を適合車種以外には使用しないでください。破損や故障により重大事故を招く場合があります。
 - 本製品への加工、取付不良や誤使用による不具合、事故等につきましては一切の責任を負いません。
 - 事故や接触により破損、変形した場合は危険ですので取外してください。



注意 ※包装材（商品パッケージ裏面）にも注意文が記載されていますので、必ずご確認ください。



本製品の取付け、交換作業は必ずトヨタの販売店もしくは自動車整備工場で行ってください。



本製品の取付け、交換は該当車両の修理書（トヨタ自動車(株)発行）に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

- 指定の貼付け位置以外に貼ると、車両機能（例：BSM、キックセンサー等）に影響を及ぼすおそれがあります。車両機能については、車両の取扱書の注意事項を確認してください。
- 取付け前に、取付部を脱脂剤等で汚れ等を除去してください。
- 貼付面が汚れていると接着強度が発揮されません。必ず汚れを落としてから貼付けを行ってください。
- 本製品は、材料として薄いアルミニウム箔を使用しており、アルミニウムの一部を露出させております。アルミニウム箔素材の特性上、小さな凸凹やゆがみ、キズ、しわ等が入っている場合があります。また、塩水や融雪剤、風雨などに長期間さらされることで変色することがありますが、これらはアルミニウム特性の為、商品性能に影響はありません。
- 本製品は、硬い物等を押しかけると容易に跡やキズが付く場合があります。また、貼付けの際などに折り曲げると容易にしわが発生しますので、取扱いには充分注意してください。
- 本製品は、導電性を有する特殊な粘着剤を使用しています。金属（メッキを含む）に直接貼付けると腐食する可能性がありますので、金属への貼付けはご遠慮ください。ガラスなどに貼付けた場合、雨などの条件により接着強度が発揮されない場合があります。また、樹脂シボ面に貼付けた場合にも、接着強度が発揮されない場合があります。
- ボデーコーティングは、本製品を貼付ける前に行ってください。ただし、ボデーコーティングを行った後に本製品を貼付けると、接着力が弱まる可能性があります。
- エッジ部は鋭利になっていますので、貼付け時に手などを切らないよう、取扱いには充分注意してください。
- 冬期など貼り付け面温度が 20℃ 以下ではテープの接着力が低下しますので、製品の粘着面及び取付部をドライヤーなどで温めて取付けをしてください。
- 取付けの際は、接着面に触れないよう作業を行ってください。接着力が弱くなります。
- 取付部の空気が残ると、熱で膨らみ、剥がれの原因となることがあります。取付けの際は、中央部から外側に向けて空気を押し出すように圧着してください。
- 取付け後、24 時間以内は洗車をしないでください。
- 高圧洗車をしないでください。端部がめくれ上がる可能性があります。
- 洗車後の拭き上げの際は、本製品の端部がめくれないように充分注意してください。

■ 安全にお使い頂くために

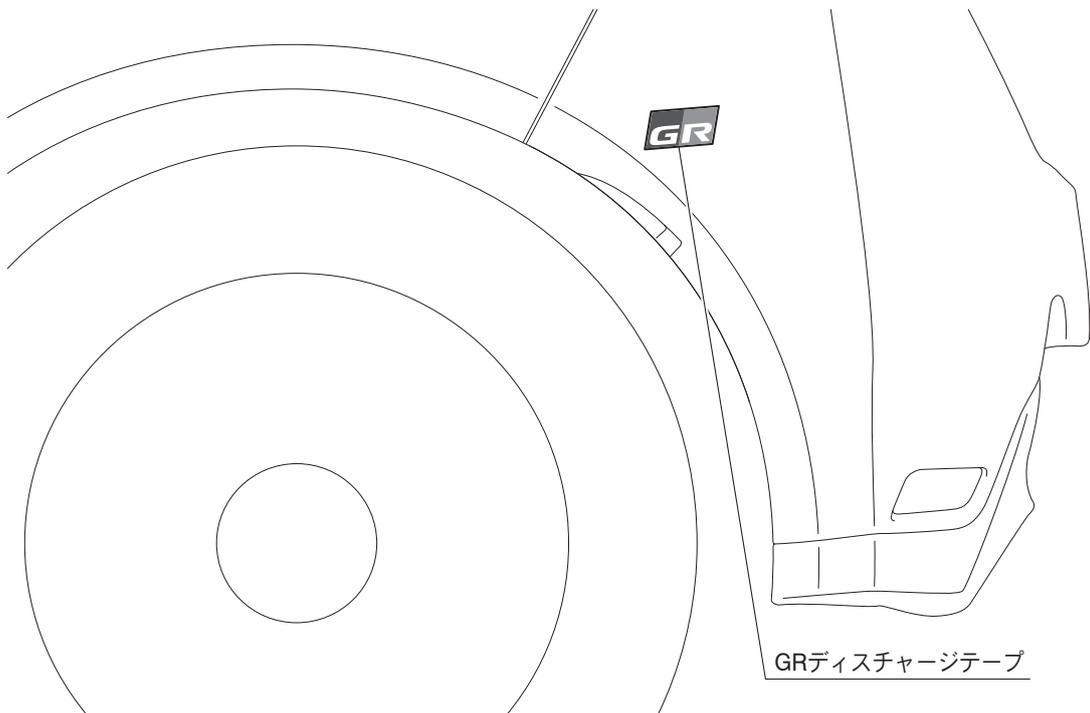
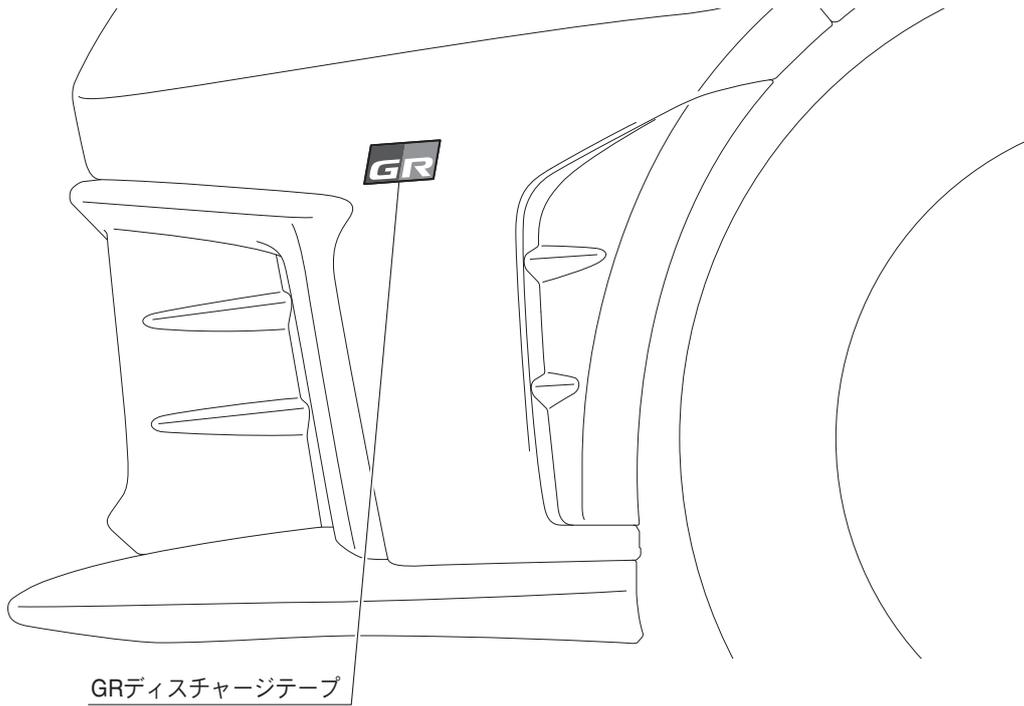


購入後の改造は重大な事故や故障を招く危険性がありますので、絶対に行わないでください。

- ◆ 本製品は、1 年または 20,000km の保証を実施いたします。（1 年または 20,000km 走行時点のいずれか早い方まで）
 - ※ 保証の詳細は TRD パーツ カタログ サイト <<https://www.trdparts.jp/>> 「保証について」 をご確認ください。
 - ※ 上記の警告・注意を必ずご確認ください。

適合車種かつ指定部位以外への取付け及び走行や取扱いにより発生した外的要因が原因の不具合や、それにより車両本体等への損傷が発生した場合のクレームには応じかねます。

■ 取付構成図



アドバイス

＜GRディスチャージテープの構造＞

アプリケーションテープ

粘着面

GRディスチャージテープ

離型紙

アドバイス

アプリケーションテープを剥がす際、図示A部の角度ができるだけ小さくなるようにしてください。

アプリケーションテープ

A

バンパー

図は、LH側を示します。

■ 取付要領

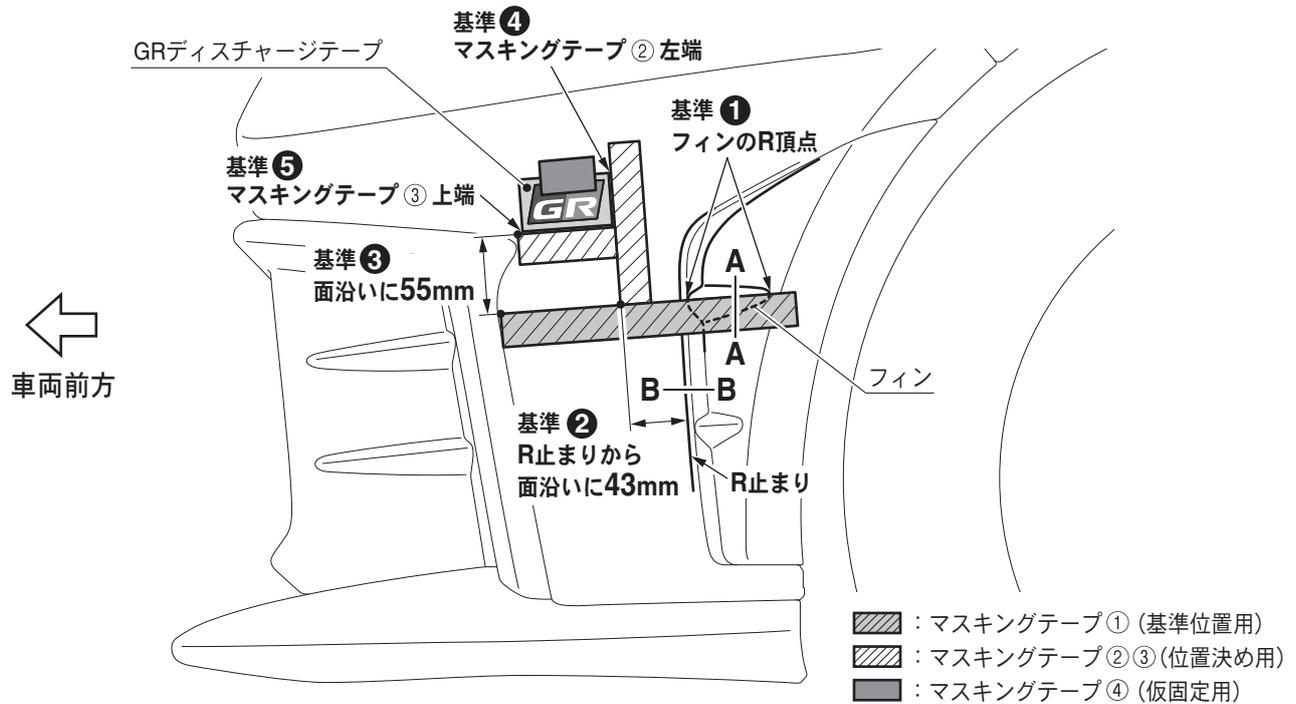
※本書の注意事項を守って作業してください。

※本取付・取扱要領書は、LH側を示しております。RH側も同様に行ってください。

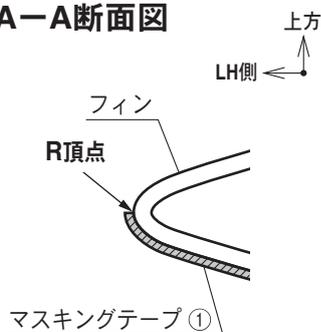
● フロントバンパーへの貼付け

1. 貼付面を脱脂し、油やほこりを除去する。
2. マスキングテープ①を基準①に合わせ、フィンに対して水平に貼付ける。(図1参照)
3. マスキングテープ②を基準②に合わせ、マスキングテープ①に対して垂直に貼付ける。(図1参照)
4. マスキングテープ③を基準③に合わせ、マスキングテープ②に対して垂直に貼付ける。(図1参照)
5. GR ディスチャージテープを基準④及び基準⑤に合わせ、マスキングテープ④でフロントバンパーに仮固定する。(図1参照)
6. GR ディスチャージテープを裏返し、離型紙を剥がす。(図2参照)
7. GR ディスチャージテープを、フロントバンパーにスキージーで圧着する。(図1参照)
※ GR ディスチャージテープの末端が剥がれないよう、確実に圧着してください。
8. アプリケーションテープ及びマスキングテープ④をゆっくりと剥がす。
9. マスキングテープ①～③を剥がす。

図1



A-A断面図



B-B断面図

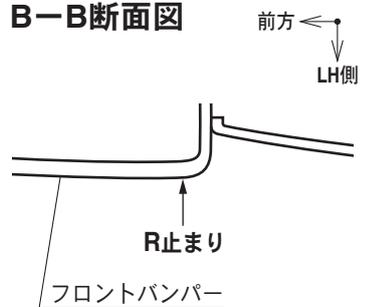
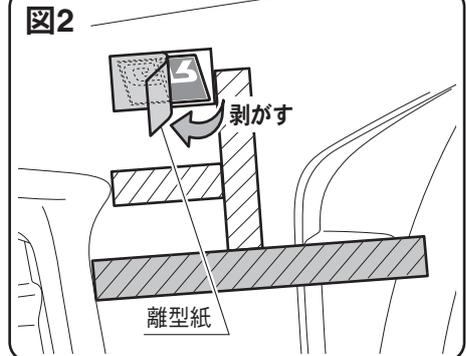


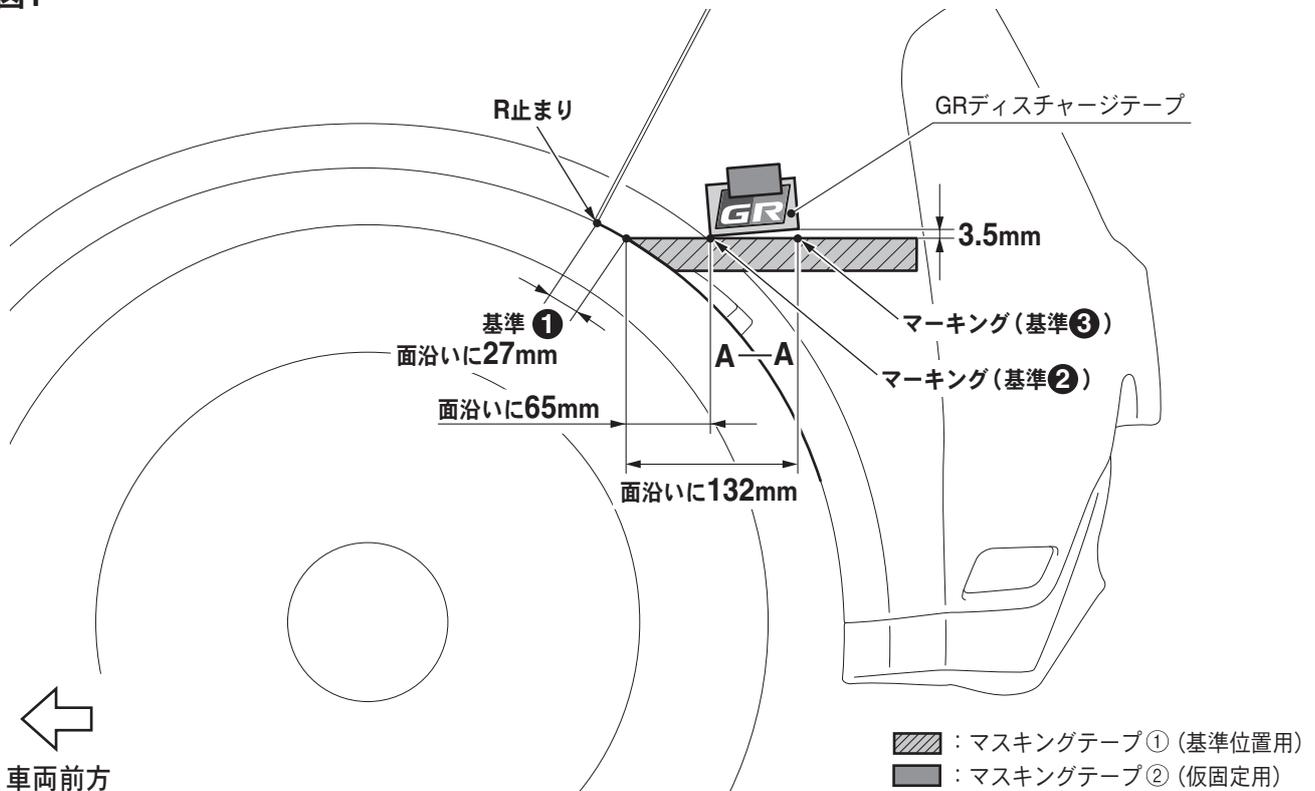
図2



● リヤバンパーへの貼付け

1. 貼付面を脱脂し、油やほこりを除去する。
2. マスキングテープ①を基準①に合わせ、地面に対して水平に貼付ける。(図 1 参照)
3. マスキングテープ①の左上端の R 止まりから 65mm の位置 (基準②) 及び 132mm の位置 (基準③) にマーキングする。
4. GR ディスチャージテープの左下端を基準②に合わせ、右下端を基準③から 3.5mm の位置になるよう、マスキングテープ②でリヤバンパーに仮固定する。(図 1 参照)
5. GR ディスチャージテープを裏返し、離型紙を剥がす。(図 2 参照)
6. GR ディスチャージテープを基準②及び基準③から 3.5mm の位置に合わせ、リヤバンパーにスキージーで圧着する。(図 1 参照)
※ GR ディスチャージテープの末端が剥がれないよう、確実に圧着してください。
7. アプリケーションテープ及びマスキングテープ②をゆっくりと剥がす。
8. マスキングテープ①を剥がす。

図1



A-A断面図

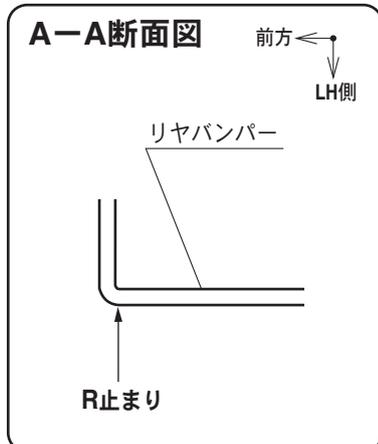
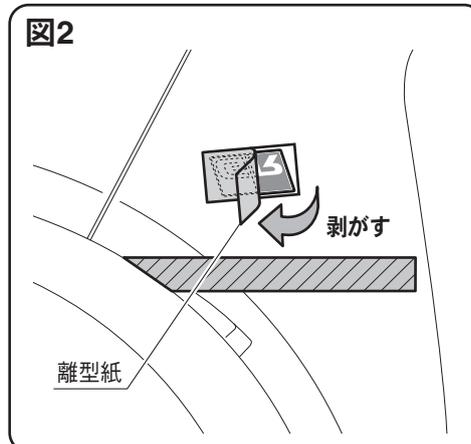


図2



■ 取付完了後の注意事項

1. 一度取付けた GR ディスチャージテープを剥がさないでください。取付け後、貼り直しをすると接着力が低下しますので、剥がれやすくなるおそれがあります。
2. 取付け後、24 時間以内は洗車をしないでください。剥がれやすくなるおそれがあります。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
TRD 商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-2121
<https://www.trdparts.jp/>

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

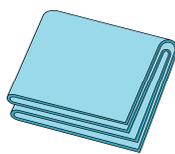


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

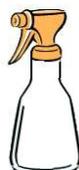
■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



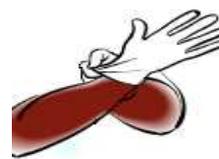
水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス



WET 用
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)
純度 70%程度を推奨
※純度 100%はモールを痛めるため
使用しないこと

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠ 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

👉 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用
燃料用として販売されている
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



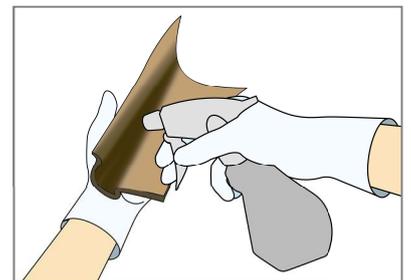
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

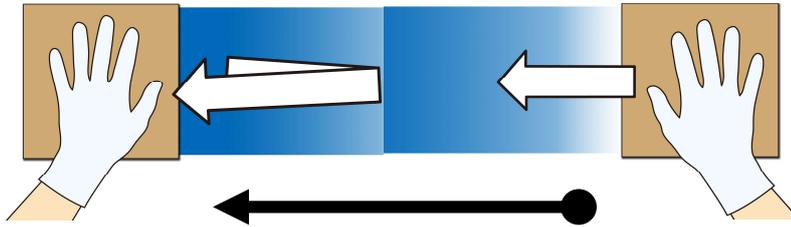
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

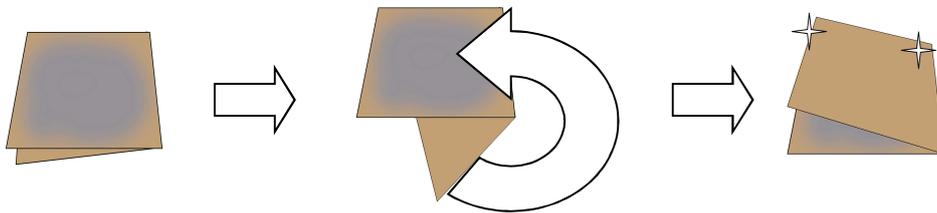
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3~5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。